

東北地方 1か月予報

(10月20日から11月19日までの天候見通し)

平成24年10月19日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

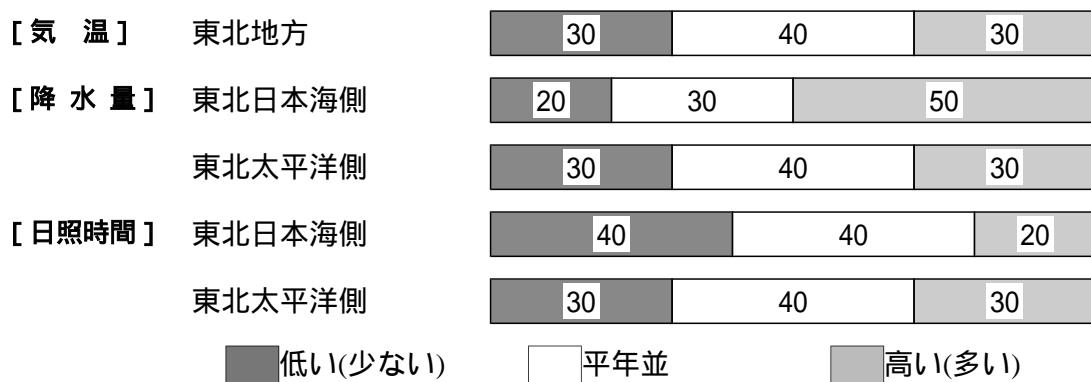
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとあります。

東北日本海側では、前半は平年に比べ曇りや雨の日が多く、後半は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。東北太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

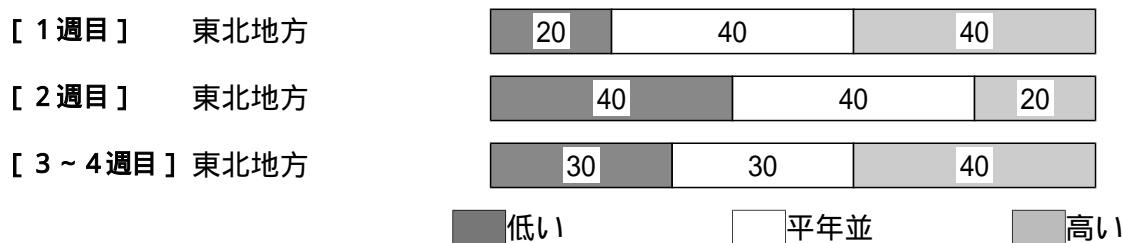
向こう1か月の降水量は、東北日本海側で多い確率50%です。日照時間は、東北日本海側で平年並または少ない確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、平年並または高い確率ともに40%です。2週目は、平年並または低い確率ともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 10月20日(土) ~ 11月19日(月)
1週目 : 10月20日(土) ~ 10月26日(金)
2週目 : 10月27日(土) ~ 11月 2日(金)
3~4週目 : 11月 3日(土) ~ 11月16日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は10月26日
3か月予報:10月25日(木) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	9.2	126.7	114.8	11.5	10.3	8.2
深浦	10.0	150.6	92.3	12.0	11.0	9.0
むつ	8.8	106.0	130.9	10.9	9.9	7.9
八戸	9.3	66.9	150.3	11.5	10.3	8.3
秋田	10.2	177.6	109.9	12.5	11.2	9.2
盛岡	8.2	90.6	131.7	10.5	9.2	7.2
大船渡	10.5	104.8	144.1	12.5	11.4	9.6
宮古	9.9	90.0	156.6	11.8	10.8	9.1
仙台	11.6	80.0	151.7	13.7	12.5	10.7
石巻	10.8	81.7	157.6	13.0	11.7	9.9
山形	9.7	84.2	117.6	12.0	10.6	8.7
新庄	8.7	184.0	82.0	11.0	9.7	7.7
酒田	11.5	213.2	109.8	13.7	12.4	10.5
福島	11.4	77.0	139.2	13.5	12.3	10.4
若松	9.4	83.0	104.7	11.8	10.3	8.4
白河	9.9	84.7	149.4	12.0	10.8	9.0
小名浜	13.1	107.4	165.0	15.1	13.9	12.3

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1981~2010年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.1 ~ +0.7	78 ~ 112	96 ~ 106
東北日本海側	-0.1 ~ +0.7	90 ~ 109	97 ~ 107
東北太平洋側	-0.1 ~ +0.7	68 ~ 116	96 ~ 106

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6 ~ +0.6	-0.5 ~ +0.7	-0.2 ~ +0.7
東北日本海側	-0.6 ~ +0.7	-0.5 ~ +0.8	-0.2 ~ +0.8
東北太平洋側	-0.6 ~ +0.7	-0.5 ~ +0.8	-0.3 ~ +0.8

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1981~2010年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1よりも多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成24年10月19日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(10月20日~11月19日):

東北日本海側では、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。東北太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

向こう1か月の降水量は、東北日本海側で多い確率50%です。日照時間は、東北日本海側で平年並または少ない確率ともに40%です。

1週目(10月20日~10月26日):

気圧の谷や寒気の影響で、東北日本海側を中心に雲が広がりやすく雨の降る日がありますが、期間のはじめは高気圧におおわれて晴れる日があるでしょう。期間の中頃は発達する低気圧の影響で、荒れた天気となるおそれがあります。

気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

2週目(10月27日~11月2日):

低気圧や前線の影響を受け、低気圧や前線の通過後は冬型の気圧配置となるでしょう。東北日本海側では平年に比べ曇りや雨の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

気温は、平年並または低い確率ともに40%です。

3~4週目(11月3日~11月16日):

冬型の気圧配置となるため、東北日本海側では平年と同様に曇りや雨の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

気温は、各階級の確率の偏りは小さい。

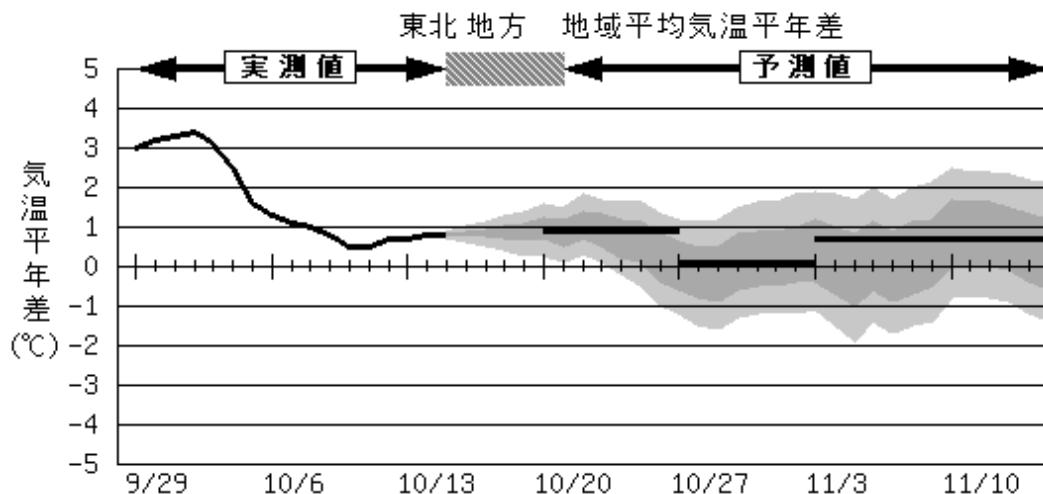
主な気象官署の、向こう4週間の平年の天気出現日数(日)

青森		秋田		盛岡		仙台		山形		福島	
晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水
11.9	13.3	11.3	14.9	13.5	10.3	16.6	5.9	12.1	9.9	15.3	5.8

晴れ日数は「日照率40%以上の日数」、降水日数は「日降水量1mm以上の日数」。

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1週目は平年を上回り、2週目、3~4週目は平年付近の予想となっている。2週目は寒気の影響を受けることから、この予想より低く考える。



- グラフの値は全て7日間平均値であり、横軸の値は平均期間の中日。
- 予測期間には7日間平均気温の予想に対する信頼の程度が40%の幅(濃い陰影の範囲)と、信頼の程度が70%の幅(濃い陰影と薄い陰影の範囲)を表示。
- 水平な3本の実線は、予報期間の1週目、2週目、3~4週目の平均を表す。
- ハッチの期間は、発表日の観測値が確定していないため、観測値と予測値に基づいて結んでいる。

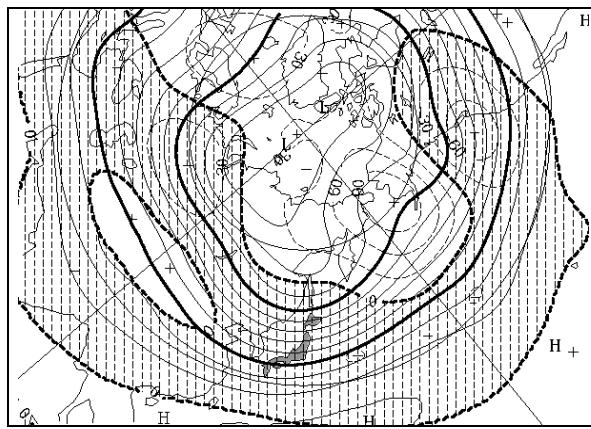
3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

1か月平均:

日本付近は気圧の谷で負偏差におおわれる。このため、東北地方は北からの寒気の影響を受ける時期がある見込み。また、平年と比べてアリューシャン低気圧が日本に近く、低気圧や前線の影響を受けやすくなる。

1週目:

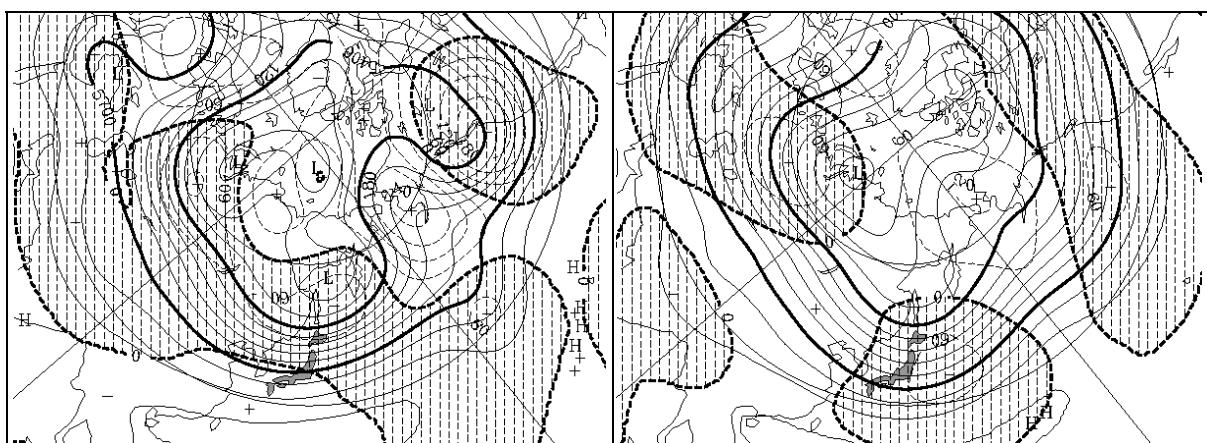
日本付近は気圧の谷で、北日本は負偏差となる。このため、東北地方は低気圧や前線の影響を受けやすく、東北日本海側を中心に曇りや雨の日が多くなる。気温は、高温傾向を見込む。



1か月平均 500hPa 予想天気図
図の見方は1, 2週目と同じ。ただし偏差の間隔は30m。

2週目:

日本の東で気圧の谷が深まり負偏差となる。また、アリューシャン低気圧がカムチャツカ半島付近に予想され、冬型の気圧配置が現れることから、寒気の影響を受けやすくなる。気温は、低温傾向を見込む。

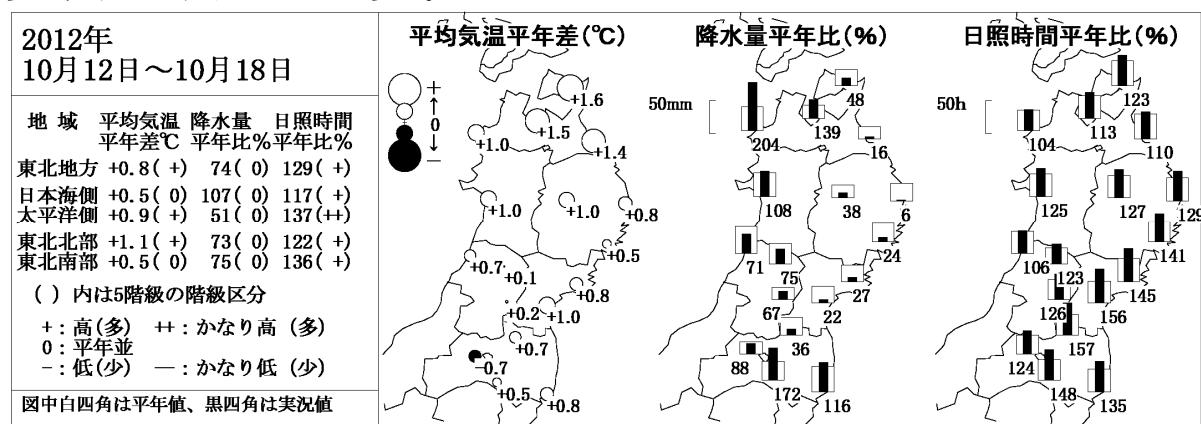


実線は等高度線（間隔 60m）、点線は偏差（間隔 60m）。陰影部は負偏差で一般に寒気に対応し、白抜きは正偏差で一般に暖気に対応する。

4. 最近1週間（10月12日～10月18日）の天候の経過

この期間、低気圧と高気圧が交互に通過したため、はじめと終わりは曇りや雨となり、中頃は晴れとなった。17日は、寒冷前線の影響で青森県、秋田県、福島県で大雨となったところがあった。

平均気温は東北北部で高く、東北南部で平年並。降水量は平年並。日照時間は東北日本海側で多く、東北太平洋側でかなり多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）